



補習校も読書の秋・運動の秋



(小3国語の授業風景)

後期がスタートした小学部教室。10月の国語教材は、どの学年も、よく親しまれている有名なお話や物語が教科書にずらりと並び、子どもたちは、お話や物語の場面を追いながら、熱心に教材の「読み」を深めていました。

ちなみに1年生「くじらぐも」(なかがわりえこ) 2年生「おてがみ」(アーノルドローベル) 3年生「ちいちゃんのかげおくり」(あまんきみこ) 4年生「ごんぎつね」(新美南吉) (5年生「大造じいさんとガン」(椋鳩十) 6年生「やまなし」(宮沢賢治)の教材

です。どれも、感性豊かな心を養う素晴らしい作品で単元目標は「様子をよく考えて読む」「登場人物の気持ちを読み取る」です。併せて、学習目標に「音読げきをしよう」とあり、補習校では、絶対に必要な音読練習に欠かせない優れた教材でもあります。ご家庭では、子どもの音読をぜひ続けて聞いてください。更に音読を「ふたりで読めばなお楽し」でお母さんも参加しての群読でセリフの役割を決めて読みあうのもいかがでしょうか。

さて、11月5日の運動会に向けて、朝の運動会練習が始まっています。「今日から運動会の練習が始まります」と私の最初の呼びかけに、「わあ～」や「ええ～」とそれぞれが叫んでいた子どもたちも、今では、最初の中2生のラジオ体操の模範演技から、中3生のお兄さん、お姉さんの「南中ソーラン」の演技まで、じっと動きを確かめながら、自然と体を動かすようになってきています。初めて参加する幼稚部の園児たちも前列で、踊りに合わせて一生懸命に体を動かしていて、とても微笑ましい光景です。

このように運動会の練習を通して、子どもたちがしっかりと「補習校のつながり」を深め、その伝統が受け継がれています。その準備として、中2、中3の生徒は、6時間目終了後、担任の指導で遅くまで練習を重ね、又、中1・小6の生徒も、毎昼食後、休み時間を返上して、担任の指導や運営委員さん達の支援を受けながら、応援合戦の練習に励んでいます。さすが、上級生！補習校のつながりの大きな推進力になっています。



(中3生『南中ソーラン』の様子)

運動会は、運営委員さんの手で準備が着々と進められ、本日も保護者の皆様方の役割分担にて細かい打ち合わせがあります。皆様方には、大変お世話をおかけいたしますが、よろしく願いたします。

運動会プログラムとプログラムの解説は、本日 別紙にて配布しています。